

DO測定装置

～使い方ガイド～



「DO測定装置」とは

専用のワグニット*とハウジングを使って、液体中の溶存酸素(DO)を測定する装置です。DO測定には流速を必要とするため、スターラーでハウジング内に送り込んだサンプル液に一定の流速を作って測定します。

サンプル液を試料ビンなどに移す必要がなく、開封したサンプルからそのまま液体をハウジングに送り込んで測定できるため、ほとんど大気に触れることなく精度よく測定できます。

*「ワグニット」は、弊社酸素センサーの登録商標です。

使い方（測定）

1

※パックマスター、スターラーは別売です。

測定する液体に吸引チューブをセットする。大気に触れないよう、測定の直前に開栓し、底面に近いところにチューブの先端がくるようにする。

測定サンプル
必要サンプル量
20ml～

シリンジ

スターラー

排水入れ

2

吸引

排出

シリンジを引く

シリンジを押し

シリンジの吸引／排出の操作で、サンプルからハウジングへ液体を送り込む。
(この吸引／排出の操作を2～3回繰り返す)

3

スターラー

スターラーを稼働させ、ハウジング内に満たした測定水を攪拌する。
(ワグニットの先端に気泡がついていない状態で測定する)

攪拌子

4

パックマスターの測定ボタンを押すと、安定値を自動ホールド。読み取りのバラツキの防止に役立つ機能です。

液体に繊維質や固形物が含まれる場合は、三方チェックバルブ(逆止弁付き)が詰まってしまうため、三方コック(手動のコック)に付け替えて注入／排出をします。